

令和7年度学校関係者評価委員会 議事録

【日 時】令和7年7月6日（日）14:00～15:00

【会 場】こころ医療福祉専門学校 3階 講堂

【委 員】出席：大木田治夫，志岐浩二，高比良宏輔，松永正司，瀬戸口勇二，
森崎太一，川崎和幸，
藤原善行，高田一樹，
大石勝規，谷口幸太郎，永田俊晴，高橋美如

欠席：有村俊男

（敬称略）

1 開会の辞（司会 学務課課長 高田一樹）

本会の開会目的の説明。

2 委員の紹介（司会 学務課課長 高田一樹）

各委員の紹介。

3 委員長挨拶（校長 藤原善行）

（1）令和7年度の学生数について…入学者数 127 名，在籍数 404 名

（2）令和6年度の評価と課題について

（3）本委員会および教育課程編成委員会の開催方法の工夫について

【総 評】大きな問題なし。

4 学校自己評価の説明（教育課長 谷口幸太郎）

学校自己評価報告書，学校自己評価結果に係る評価書の説明を行う。

5 令和6年度 学校自己評価結果に係る委員の評価書

特に問題なし・・・○

附帯意見あり・・・△

	点検項目	学校関係者評価
1	教育理念・目標	○
2	学校運営	○
3	教育活動	○
4	学修成果	△
5	学生支援	○
6	教育環境	○
7	学生の受入れ募集	○
8	財務	○
9	法令等の遵守	○
10	社会貢献	○

・附帯意見

<森崎委員>

令和6年度の鍼灸科退学者数が5名であることが気にかかった。

<川崎委員>

在学中に、卒業後どういう社会人になりたいか、学校で学習したことをどういうふう
に活かして仕事をしていけばいいか、しっかりとした理念を持てる学生を育成してい
ただければいいと思う。

6 令和6年度重点目標に対する総括

(1) 授業の充実と国家試験合格率及び就職率の100%達成

①国家試験合格率は、令和5年度より若干の向上が見られたが、学科間で差がある状況
は解消できていない。

②今年度の4～5月の模擬試験結果はBランク(合格可能圏)の層が少ない現状である。
指導の早期化が課題と考えている。

③就職率については良好な状態を継続しており、就職希望者の就職率は100%である。
特に県内就職率が91%を超えており、前年度から19.9%増となっている。地域を包
括的に支援するという本学園のビジョンに向けた取り組みの結果であると考えている。

(2) 社会人基礎力を身につけた自立する職業人・社会人の育成

①近年は学生の「幼さ」を感じている。社会との橋渡し教育の場である専門学校として、
「すべては日常にあり」という考えに基づいて学生への指導を継続していく。

②卒後研修は3年目の取り組みとなる。昨年度の研修参加者は、最終的に115名となっ
た。広報との連携に課題を残していたため、今年度からは簡易的なパンフレットを作

成し参加者に配付している。今後も卒業生のニーズにこたえられるよう、各科取り組んでいく。

(3) 留学生教育の充実と基本的生活習慣の確立

①留学生教育の質の向上， JLPT4 級以上全員合格， 進路開拓という目標を掲げ取り組んだ。JLPT4 級以上合格については 68%という結果だったが， 入国管理庁からは適正校クラス I の指定を受けることができた。

②今年度からキャリアビジネス科を新設した。留学生がビジネス系の在留資格を得ることができる学科である。日本語学校卒業後の進路として県外を選択する学生が非常に多いが， 県外流出を防止し， 長崎に人材を留めることも目標としている。

(4) 「学科目標シート」と「学校自己評価」による人材育成と学校活性化

①資料に記載のとおり， 総合評価は 3.6 となっており， 前年度から 0.1 ポイント向上した。

②教育課程編成委員会でいただいた意見を活かすことができ， 実践に近い教育が推進できた。

(5) 学園体制として取り組む学生募集

①令和 6 年度の学生募集の成果は， 220 名定員に対し， 入学者 129 名となった。

②以前から引き続き課題として残る点は， 退学と休学の防止についてである。令和 6 年度は， 退学者 18 名， 休学者 10 名であった。特に 1 年次に多い。理由としては進路変更が最も多い。低学年の段階からいかに職業イメージを具体的に構築してもらうかが課題となる。

近年は学生が精神面に課題を抱えているケースも多く， 教職員もその対応力が求められることから， 今年度 8 月に実施予定の教職員研修会では， スクールカウンセラーの先生に講師を務めていただくことになっている。

(6) 令和 7 年度の学校目標および重点目標について

キャリアビジネス科新設に伴い， これまでの医療福祉分野だけではなく， 県内のあらゆる産業が進路となっていく。このため， 今年度からの学園ビジョンを「地域のすべての産業と高齢化社会を包括的に支援できる組織になる」と改めている。

今年度は， この新しいビジョンに向かって， 学校目標および重点目標を掲げており， 各目標について対策を講じながら取り組んでいく。

7 質疑応答

(川崎) 令和 6 年度の鍼灸科の退学者が 5 名ということに驚いた。専門実践教育訓練給付金の指定要件に関連すると思われるが， どのような状況か。

(高橋) 退学者は毎年いるが， 休学から復学ができずに退学していくケースや， 精神面に課題を抱えているケース， 進路変更というケース， 学力不振が原因であるケースなどがある。社会人については， 働きながら勉強していくことに困難さを

感じる方もいるようだ。

専門実践教育訓練給付金の指定要件のひとつは卒業率 8 割である。これを満たさないと指定が一旦取り消されるが、再度要件を満たせば再指定の申請ができる。

(高田) 懸念されているとおり、次回更新の際は要件を満たさない。1 年間指定が途切れることが決まっている。令和 8 年 4 月入学の学年までは指定を受けているが、その翌年度入学の学年は途切れることになる。